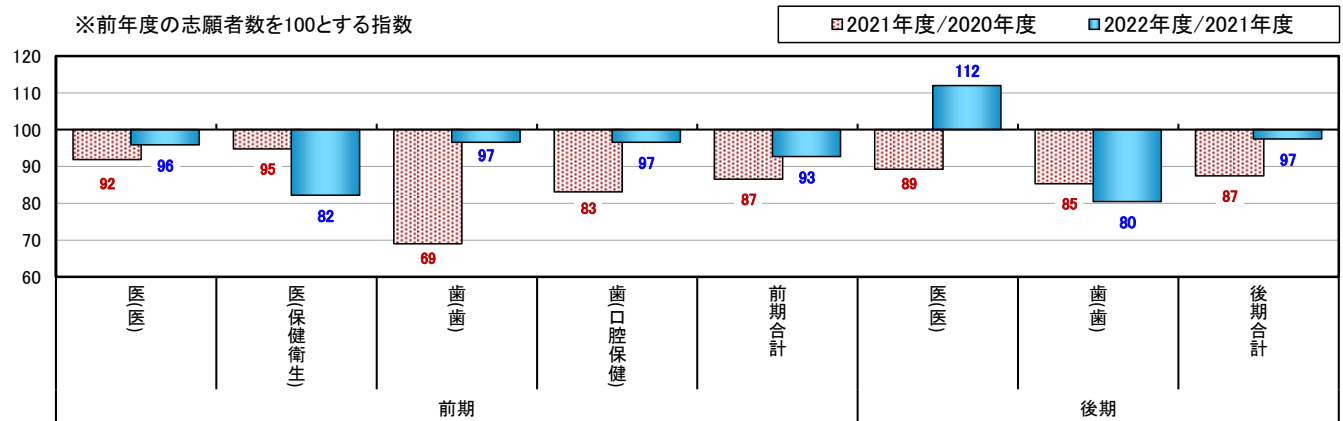


## 東京医科歯科大：前期は2年連続減少、後期の医(医)は増加

前期：-48人 後期：-9人

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、55人(94)のやや減少で3年連続減少。前期は48人(93)のやや減少で2年連続減少、志願者数は2年連続で600人台。後期は7人(97)のやや減少で3年連続減少。学部・学科・日程別では医(医)<後>を除いていずれも減少で、共通テストの平均点ダウンの影響が見られた。

## &lt;前期日程&gt;

- 医(医)(96)は、やや減少で2年連続減少。志願倍率は4.0倍→3.8倍にダウンして、3年ぶりに4倍を下回ったので、第1段階選抜は実施されなかった。
- 医(保健衛生)(82)は、共通テストの平均点ダウンの影響により、大幅減少で2年連続。専攻別では、(保健衛生/検査技術学)(82)は大幅減少で3年ぶりに減少。(保健衛生/看護学)(83)は大幅減少で3年連続減少、志願倍率は2.2倍→1.8倍にダウンして、2倍を下回った。
- 歯(歯)(97)は、前年度減少率30%以上の大幅減少の反動はなくやや減少で、志願倍率は2年連続で4倍を下回ったので、第1段階選抜は実施されなかった。
- 歯(口腔保健)(97)は、共通テストの平均点ダウンの影響により、2年連続大幅減少の反動はなくさらにやや減少して、3年連続減少。志願倍率は2011年度に新設以来最低の2.0倍。専攻別では、(口腔保健/口腔保健衛生学)(108)は、前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(口腔保健/口腔保健工学)(77)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。

## &lt;後期日程&gt;

- 医(医)(112)は、2年連続減少の反動で増加。志願倍率は15.0倍→16.8倍にアップし、実施基準倍率12倍を上回ったので、2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は72.3%だった。
- 医(歯)(80)は、大幅減少で3年連続減少。志願倍率も8.5倍→6.9倍にダウンしたが、実施基準倍率6倍を上回ったので、2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は87.4%だった。